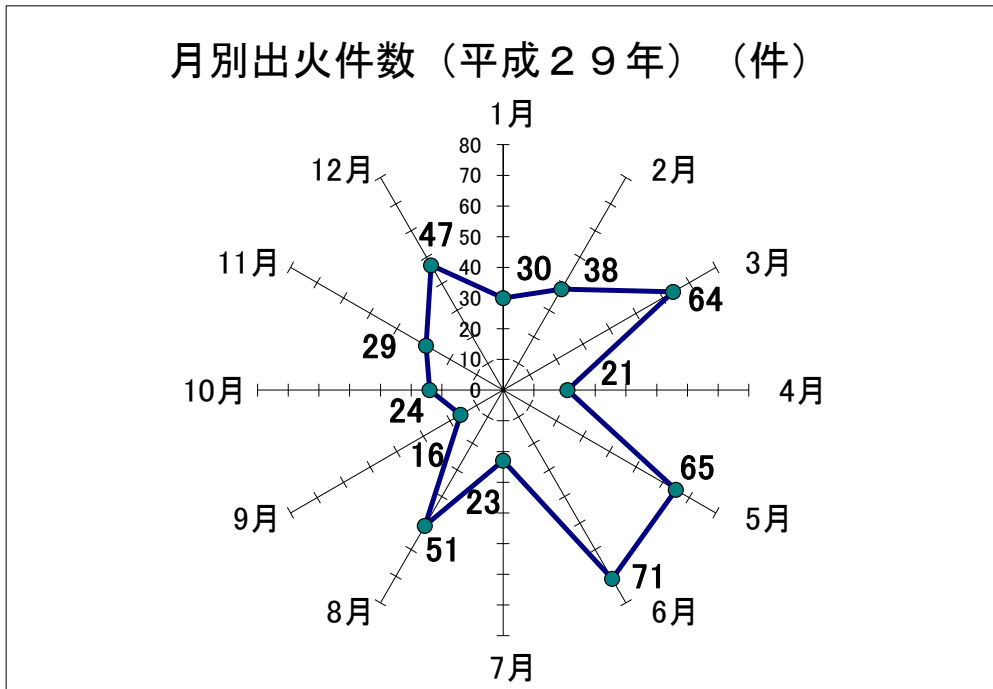


火災発生 の 概況



1 出火件数について

平成29年中の長崎県内における火災は、火災総数479件、損害額817,358千円、火災による死者数24名、負傷者数68名、罹災世帯数195世帯、罹災人員459名でした。

これを、前年と比較してみると、出火件数では3件減少し、死者数では前年より7名増加、損害額では198,758千円の増加となっています。

火災種別の内訳をみると、建物火災が224件で全火災の46.8%、次いで林野火災が26件(5.4%)、車両火災が24件(5.0%)、船舶火災9件(1.9%)、その他の火災が196件(40.9%)でした。

2 火災による死者の状況

火災による死者は24名で、前年より7名増加、負傷者は68名で前年より4名の減少となっています。

3 出火原因

出火原因では、第1位は「たき火」(122件)、第2位は「たばこ」(39件)、第3位は「放火(放火の疑い含む)」(30件)、第4位は「コンロ」(27件)、第5位は「電灯電話等の配線」(26件)となっており、これらで全体の50.9%を占めています。

(県消防保安室)